

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1163））

2. 日時：平成30年7月31日 10時00分～12時00分

14時00分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全管理調査官、江寄企画調査官、吉村上席安全審査官、植木主任安全審査官、岸野主任安全審査官、千明主任安全審査官、日南川安全審査官、三浦安全審査官、竹内技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 室長代理 他21名

東北電力株式会社：土木建築部（原子力業務） 担当 他2名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 土木耐震グループ 副長 他5名

中部電力株式会社：原子力土建部 設計管理グループ 主任 他2名

北陸電力株式会社：土木部 耐震建築技術チーム 副課長 他1名

中国電力株式会社：電源事業本部（耐震建築） 副長

電源開発株式会社：原子力技術部 原子力建築室 担当 他2名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、5月22日、6月18日、27日、28日、7月27日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る耐震性に関する説明書、津波への配慮に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

＜原子炉建屋の地震応答計算書、耐震性についての計算書＞

- 中央制御室の床スラブに関し、ねじれの影響を考慮したせん断ひずみの評価について、3次元FEMによる応答解析結果を踏まえて検証し、その内容を整理して提示すること。
- 中央制御室の天井スラブの応答増幅とそれによる天井スラブの評価への影響について検討し、その内容を整理して提示すること。

＜立坑構造物の解析モデル変更について＞

- 鉛直、水平断面で求められた鉄筋の設定方法、水平2方向影響の対応方法等、各設計の骨子が明確になるように、整理して提示すること。
- 版部材の設計、水平輪切り断面の設計等が、円形断面のみならず、矩形断面にも適用されることが明確になるよう記載すること。
- これまでの経緯及び今後の予定について、資料が提出済みか、未提出かわかるようにし、説明期間も考慮した予定を示すこと。

<津波への配慮に関する説明書>

- 構内排水路逆流防止設備の耐震性の評価に関し、集水枡の位置がわかる評価対象断面図を提示すること。
- 構内排水路逆流防止設備の評価対象部位について、耐震評価結果を網羅的に整理して提示すること。
- 応力計算の対象部位の構造、位置等がわかるような資料を示すこと。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 原子炉建屋耐震計算書の評価対象部位の整理
- ・ V-2-9-3-1 原子炉建屋原子炉棟の耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-2-2-1 防潮堤（鋼製防護壁）の耐震性についての計算書
- ・ V-3-別紙3-2-1-1 防潮堤（鋼製防護壁）の強度計算書
- ・ V-2-10-2-2-3 防潮扉の耐震性についての計算書
- ・ V-3-別添3-2-1-4 防潮扉の強度計算書
- ・ V-2-10-2-4 構内排水路逆流防止設備の耐震性についての計算書
- ・ 東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）